

## 平成31年度事業計画

平成31年3月21日～平成32年3月20日

当財団は、自身が事業を行うことがほとんどない「助成財団」であって、申請者の志を通じて「ホスピタリティの概念が社会に定着することによって、健康で心豊かな生活を営むことのできる社会の実現に寄与したい」という当財団の願いを社会に実現しようとするものであるが、大学の研究、留学、実施事業、大学生への奨学金など、当財団の目的に沿った申請が着実に増えていることが感じられる。

収入を株式配当にほぼ依存するため、中長期的な運営体制の拡充を決断することは簡単ではないが、ここしばらくの経済情勢を好機として、公益目的事業の実施と法人体制のバランスを取りながら、事業内容の一層の拡充と実施態勢の強化の両立を図り、以下の事業を行う。

### 1. 研究開発等助成事業

#### 研究開発等のグループ

- (1) 福井県立大学 経済学部（松下准教授）の「地域活性化を目指す『食』イベントの効果の検証」に対して助成を行う。（新規研究）
- (2) 静岡県立大学 国際関係学部（松森准教授）の「体系的な『ホスピタリティ思想史』の構築 観光客および外国人材受け入れ拡充策としてのグローバルマインドの形成に向けて」に対して助成を行う。（新規研究）
- (3) 和歌山大学 観光学部（藤田教授）の「ツーリズム・テロワール概念を活かした食農連関の再構築と地域活性化への貢献に関する研究」に対して助成を行う。（新規研究）
- (4) 一橋大学大学院 社会学研究科（赤嶺教授）の「成熟社会における食生活 パナナのサプライチェーン研究を中心として」に対して助成を行う。（新規研究）
- (5) 一橋大学大学院 社会学研究科／デリー大学大学院 社会学科博士課程（渡部春奈氏）の「戦争の記憶と観光開発 インド北東部における戦争観光の事例から」に対して助成を行う。（新規研究）
- (6) 高知大学 農学部（河野教授）の「光センシングによる冷凍ミールの非接触品質推定法に関する研究 冷凍食品の解凍時品質を保證するためのコアテクノロジーの開発」に対して助成を行う。（新規研究）
- (7) 神戸大学大学院 国際協力研究科博士課程（酒井萌乃氏）の「ミクロネシア連

邦ポンペイ州における生活習慣と肥満の関係 本島と離島居住者の栄養摂取量および身体活動量の比較から」に対して助成を行う。(新規研究)

- (8) 山形大学 農学部(永井教授)の「常温長期発酵熟成法による低塩味な甘エビ醤油の開発」に対して助成を行う。(新規研究)
- (9) 奈良県立医科大学付属病院 臨床研究センター<申請時所属 京都大学 医学部付属病院 臨床研究総合センター EBM推進部>(鈴木渉太氏)の「外国人患者が処方されたくすりを適正に使用することを目指したメソッド『OMOTENASHI』アプリ版の開発と調剤薬局における評価」に対して助成を行う。(継続研究)
- (10) 東北大学大学院 農学研究科(高橋准教授)の「牡蠣を飲むこと・牡蠣を食べることの意味 官能検査と成分分析から得る科学的根拠」に対して助成を行う。(新規研究)
- (11) 同志社女子大学 現代社会学部(天野教授)の「北海道富良野地域における地域食「富良野オムカレー」の成立と外食産業への展開を通じた活性化のありかた」に対して助成を行う。(新規研究)
- (12) 東京成徳大学 応用心理学部(関谷准教授)の「タトゥーを受け入れる公共入浴施設に対する印象評価の変容に関する実証的検討 利用客の不安低減に伴う効果と影響の解明」に対して助成を行う。(新規研究)

#### 外食特別枠のグループ

- (13) 九州大学付属図書館 付設記録資料館(宮地准教授)の「沖縄のうれんプラザの観光市場化に向けた問題点の発掘と解決策の提言 『目玉』としてのハラルフード」に対して助成を行う。(新規研究)
- (14) 昭和女子大学 生活科学部(藤澤准教授)の「消滅可能性都市における外食産業の実態把握と空き店舗空間の再構築 地域・風土性を生かした付加価値とホスピタリティを求めて」に対して助成を行う。(新規研究)
- (15) 新潟大学 農学部(清野教授)の「高齢者の食生活における外食・中食の位置づけに関する研究 食行動の分析を通じて」に対して助成を行う。(新規研究)

#### 教育等のグループ

- (16) 和歌山大学 観光学部(藤田学部長)が担当する寄付講座「地域づくりの理論と実践」に対して助成を行う。(同一大学新規研究)
- (17) 玉川大学 観光学部(香取学部長)が担当する寄付講座「ホスピタリティ・マ

ネジメント」に対して助成を行う。（継続研究）

## その他

(18) ホスピタリティ事業の振興に役立つ研究開発事業に対して助成を行う。

### 2. 奨学金給付事業

全国の大学・短期大学・専門学校において、「ホスピタリティ」事業に関わる学科を専攻する学生、或はホスピタリティや食文化に関心を持っている学生を募集・選考し、36名に対し奨学金月額20,000円を給付し、ホスピタリティ文化やホスピタリティ事業を担う人材の育成を図る。〈一般募集〉

ロイヤルグループの指定寄付による被災学生を対象とした特別奨学生21名（うち既に特別奨学生採用委員会で採用を内定したもの17名、3月末に採用予定の進学予定者5名）に対し奨学金月額25,000円を給付し学業の継続を支援すると共に、ホスピタリティについての関心を醸成する。〈特別募集A〉

特定非常災害対応奨学生4名に対し奨学金月額25,000円を給付し学業の継続を支援する。〈特別募集B〉

### 3. 海外研修・留学等助成事業

(1) 米国食品産業最新研究研修（食品加工関係学会併催）に8日間、研修参加する者（東京農業大学教授）1名に対して助成を行う。（新規助成）

(2) オーストラリア シドニー大学 薬学部大学院ヘルスサービス専攻の博士過程に留学中の者1名に対して助成を行う。（継続助成）

(3) 7月1日応募締切の後期留学者に対して助成を行う。

### 4. 研修会等開催助成事業

(1) 一般社団法人国際観光日本レストラン協会の「親子体験食味学習会」開催に対して助成を行う。実施期間は夏休み中。（継続事業）

(2) 日本食育学会の「第7回日本食育学会学術大会」開催に対して助成を行う。（新規事業）

(3) 一般社団法人九州観光推進機構の「おもてなしセミナー」開催に対して助成を行う。（新規事業）

### 5. 文献・資料等収集整備事業

専門書・資料等を収集して、食や観光などホスピタリティ事業に関する蔵書の充実を図ると共に、広く一般市民や奨学生、または業界関係者に開放する。

「外食産業経営論」並びに「外食産業史」を中心に引き続き資料収集の準備を行い、専門分野の図書充実を図る。

また、ホスピタリティ産業に対する理解と関心を一層深めるために、奨学生他に対し、蔵書の中から刊行物及び資料を配布する。

## 6. その他の事業

- (1) 井原山田縁プロジェクトの「『棚田が暮らしの中にある市民』を増やすプロジェクト」に対して助成を行う。(継続事業)
- (2) 一般社団法人ふるさと発・復興志民会議が行う熊本大分地震支援事業「震災復興支援 ～食と農の現場における心の復興に向かって～」に対して助成を行う。(継続事業)
- (3) ななつか「食と農」の会の「世帯の極小化と『食べ事』の変化」に対して助成を行う。(継続事業)
- (4) 一般社団法人循環のまちづくり研究所が行う「持続可能な農村モデルづくり」事業に対して助成を行う。(継続事業)
- (5) ホスピタリティ事業の振興に役立つ事業に対して助成を行う。

以上